

様式 2

番号 観点	発行者の番号・略称	使用学年	教科書の記号・番号	教科書名
	2・東書	第3学年 第4学年 第5学年 第6学年	理科 331 理科 431 理科 531 理科 631	新編 新しい理科 3年 新編 新しい理科 4年 新編 新しい理科 5年 新編 新しい理科 6年
取扱内容 各教科、各学年の目標、内容等	<p>物質・エネルギー 第3学年では、粘土の置き方や形を変えて重さを調べる実験、ゴムで動く車を作るものづくり、第4学年では、水を熱したときの様子を調べる実験、電気の働きで走る自動車を作るものづくり、第5学年では、水の量や温度を変えて水に溶ける食塩の量を調べる実験、電磁石を利用した道具やおもちゃを作るものづくり、第6学年では、物を燃やす働きのある気体を調べる実験、てこやてんびんを利用したはかりを作るものづくりなどの活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>生命・地球 第3学年では、ホウセンカの栽培、日なたと日陰の地面の温度を調べる観察、第4学年では、人の腕や脚のつくりと動き方を調べる観察、時刻を変えて月の位置を調べる観察、第5学年では、ヘチマ等の花のつくりの観察、メダカの飼育、流れる水の働きを調べる実験、第6学年では、呼気と吸気の違いを調べる実験、月の形と位置を調べる観察などの活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>知識・技能の習得、活用、探究への対応 第3学年では、「虫眼鏡」や「方位磁針」などの観察・実験器具の使い方を習得する活動及び磁石の性質を利用した道具としての方位磁針の特徴を理解するなどの発展的な学習、第4学年では、「星座早見」や「実験用ガスこんろ」などの観察・実験器具の使い方を習得する活動及び直列回路と比較して並列回路の特徴を理解するなどの発展的な学習、第5学年では、「解剖顕微鏡」や「双眼実体顕微鏡」などの観察・実験器具の使い方を習得する活動及び季節ごとの天気の特徴を理解するなどの発展的な学習、第6学年では、「リトマス紙」や「気体検知管」などの観察・実験器具の使い方を習得する活動及び太陽・月・地球の大きさの違いと、地球からの距離を理解するなどの発展的な学習が取り上げられている。</p>			
内容の構成・排列、分量等	<p>内容の構成・排列 第3学年の「物の重さをくらべよう」では、重さを比べる教材を塩と砂糖として、問題を解決する学習が進められるように、第4学年の「自然のなかの水のすがた」は、「水のすがたと温度」の次に位置付け学習内容の関連が図られるように、第5学年の「流れる水のはたらき」では、資料での学習を基に流水の実験が行われるように、第6学年の「太陽と月の形」では、月の観察と天体の特徴をとらえた後にモデル実験が行われるように単元を構成するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫されている。</p> <p>内容の分量 第3学年では、物質・エネルギーは58ページ、生命・地球は80ページ、資料等は18ページであり、総ページ数は156ページで、前回より約13パーセント増となっている。 第4学年では、物質・エネルギーは70ページ、生命・地球は95ページ、資料等は19ページであり、総ページ数は184ページで、前回より約14パーセント増となっている。 第5学年では、物質・エネルギーは51ページ、生命・地球は98ページ、資料等は19ページであり、総ページ数は168ページで、前回より約14パーセント増となっている。 第6学年では、物質・エネルギーは71ページ、生命・地球は120ページ、資料等は17ページであり、総ページ数は208ページで、前回より約18パーセント増となっている。</p>			
使用上の配慮等	<p>コラム「資料」では、理科を学ぶ意義を実感したり(全学年)、同じ場所の雪解けの季節の風景写真を掲載したり(第4学年)するなど、学習意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>特集ページ「わたしの研究」では、研究テーマの決め方、調べ方などを示し(全学年)、「学びをつなごう」(第6学年)では、既習事項を生かした学習方法を示すなど主体的に学習できる工夫がなされている。</p> <p>資料に観察・実験器具の使い方などに関する内容をまとめ(全学年)、安全に配慮する箇所に「きけん」マークを示したり(全学年)、文章を単語や文節で改行したりするなど、使用上の便宜が図られている。</p>			
その他	<p>北海道と関連のある教材は、「有珠山」など、26箇所取り上げられている。</p> <p>エネルギー・環境に関する内容等の教材は、「火力発電」など、20箇所取り上げられている。</p>			